

NEWS RELEASE

アフリカ・東南アジアとつなぐ国際共同事業

さくらサイエンスプログラム

「エネルギー変換材料開発に向けた第一原理材料設計研修」

- 12月2日(火)～12月4日(木)、モロッコ、セネガル、インドネシアから大学院生7名・若手研究者1名を招き、三重大学大学院生との合同研修を行います。
- 今回のテーマは、太陽光や熱エネルギーを電気に変換するための再生エネルギー機能材料の設計です。
- 本事業は、科学技術振興機構(JST)主催の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム」の助成を受けて実施されます。

三重大学は12月2日(火)～12月4日(木)に、モロッコ、セネガル、インドネシアから大学院生7名・若手研究者1名を招き、太陽光や地熱のエネルギーを電気エネルギーに変換するための再生エネルギー機能材料の設計をテーマに、三重大学大学院生との合同研修を行います。

本事業は、材料設計に強い関心を持つアフリカ及びアジア地域の若手研究者・大学院生を招へいし、三重大学大学院生との共同研修を通して、デバイス材料開発を担う国際性に富む研究者を育成すること、そして、次の国際共同研究につなぐことを目的としています。

合同研修では、2日(火)夕刻には交流会、3日(水)午後には、津市内の工場見学、県内文化施設(伊勢神宮など)の視察を行います。コンピュータシミュレーションの実演やプログラムのコーディングなどの専門的研修に加えて、モロッコ、セネガル、インドネシアの2地域(ジョグジャカルタとバンドン)の地域・文化・大学について、各大学の学生から紹介プレゼンテーションもあります。学生も、将来のために、国境を越えた人脈づくりを意識して行動しています。

本プログラムは、科学技術振興機構(JST)主催の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム」の助成を受けて実施するもので、オンライン事業も含め、2017年度から6回目の実施となります。なお、本企画は、モロッコのムーレイスマイル大学、セネガルのガストンベルジェ大学、インドネシアのガジヤマダ大学とバンドン工科大学の協力を得て、本事業に至っています。

つきましては、招へい学生と三重大学生が共同で取り組む様子などをご取材いただけますと幸いです。

*国際青少年サイエンス 交流事業「さくらサイエンスプログラム」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。



<本件に関するお問合せ>

三重大学大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授 中村浩次

TEL: 059-231-5361 E-mail: nakamura.kohji@mie-u.ac.jp